

運動競技会を終えて～5組生徒作文より～

『最後の運動会』 5組 山田百華

私はこの運動会で学んだことが2つあります。

ひとつは、団結力の強さを感じられたことです。私のクラスは単級での授業だったけれど、他クラスと競う時間をもらうことができました。練習では1位を取ることができましたが、そこで満足せずに次回のことをみんなで話し合っている姿を見て、団結は本番で勝つことだけではなく、日々の練習をみんなで支え合って頑張ることだと思いました。

もうひとつは、普通の大切さです。今、新型コロナウイルスの影響で、いろいろな行事の中止が続く中で運動会が開催され、いつもなら行われるのが当たり前だと思っていた行事だったけど、今回はいつもがなくなってしまったので、行われることが一層嬉しく思いました。そして、いつもの普通がこれほど大切だったことを実感しました。

新型コロナウイルスで様々なことがなくなっていった残念なことだらけだと思っていたけれど、私は新型コロナウイルスがあったことで、何気ない1日の大切さを学ぶことができたと思います。

『一番濃かった最後の運動会』 5組 川田真鈴

10月28日、コロナウイルスでできないはずだった運動競技会が行われました。

まず、今年は何も行事がないと思っていましたが、運動競技会ができると言われたときは、本当に嬉しかったです。そして、この運動会を通して感動したことがあります。

ひとつは、みんなの運動会練習に取り組む姿勢です。リレーの走順では、学校が終わってから一生懸命考えて走順を決めました。練習の時は一クラスになってしまったけれど、みんな相手がいるという気持ちで全力で走っていて、全力で応援している姿にすごく感動しました。選手種目では、私は大縄に出ることになり、みんなでひたすら跳び続け、たくさん練習しました。縄を回す方も大変なはずなのに、一切弱音を吐かずひたすら回してくれていた人たちには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

もうひとつは、5組の団結力です。練習の時も本番も、誰かが失敗しても一切責めずに、むしろ前向きな言葉をかけてあげ、仲良く明るい雰囲気を作るみんなの優しさに感動し、心が温まりました。そのおかげで、本番も練習も楽しくやり遂げることができました。

最後に、順位は1位を取ることができなかったけれど、みんなで協力して出られた運動会、最高の思い出になったことは変わりないです。5組のみんなの優しさ、団結力は一生の宝物です。今回の運動会で学んだことは決して無駄にせず、この先に生かしていきたいです。

また、コロナウイルスがある状況の中、少しでも思い出を作れるよう、運動会をしてくださった先生方、練習の時に合同の体育の時間を作ってくださったこと、仲間として運動会に出た5組のみんなには、本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございました。





『楽しかった運動会』 5組 竹内祐貴

僕のクラス、3年5組は、3位以内に入賞することはありませんでした。だけど、結果よりもとても大切な思い出を作ることができました。大縄やリレーはいい順位に入るのは出来なかったけれど、誰も誰かを責めたり悪口を言わなくて、中学生最後のクラスが5組でよかったなと思いました。

それから、5組は応援が凄くよかったと思いました。僕たちが座っていた席は端っこで、応援するのには少し不利だったのにも関わらず、僕が競技に参加していた時、みんなの応援が聞こえて、とても力になりました。そして、リレーがとても楽しかったです。3組と抜かしたり抜かされたりしたのが、とても白熱していて盛り上がりました。何より、糸谷くんや練習で手首をけがした三浪くん、足首をけがした梅ちゃんや川田さんが全員リレーに参加できたことが嬉しかったです。糸谷くんが復帰できるとグループLINEで言ったとき、みんな喜んでいて、本当に5組はいいクラスだな、と思いました。

卒業までの少ない日々を大切に過ごしていきたいなと思いました。

～以下、一部抜粋して紹介します～

◆気づいたら当日になっていた。緊張は定期テストくらいしたのを覚えている。次々と種目が終わって、自分の出る大縄になった。“自分のせいで負ける”。これが一番嫌だった。金杉くんが「ミスらなかつたら勝てる。縄を跳べばいいだけ。」と言っており、頭の良い人は違うなあと感心と尊敬の気持ちを持った。緊張がゆるみ、ミスしないで飛ぶことができてよかった。[宗像 陸]

◆私は個人種目で八の字跳びとタイヤ転がしに出ました。八の字跳びは、昼休みにみんなが校庭に出て、たくさん練習しました。誰かが引っかかっても責めないし、いやな顔をしないでみんなが「ドンマイ!」「大丈夫」「焦らないで落ち着いて」などの声がたくさん聞こえるので、責められるなどの心配をしないで跳ぶことができました。タイヤ転がしは、当日補充で入ることになり、不安などがあったけれど、みんなが「大丈夫」「頑張れ」と声をかけてくれたので、楽しく競技に参加することができました。[國京姫菜]

◆負けた悔しさはあっても嫌な気持ちがない。私が周りを見ると、どこにも嫌な言葉はなく、ただ、誰かを励ます言葉がありました。このとき、私は確信したものに気づきました。それは「絆」です。私が確信していたのは、5組の絆、団結力の強さ、仲間を思いやり、励まし、団結する心そのものだったのです。それは何物にも代えがたい喜びでした。[梅津 勝]

◆自分は、この運動会が中学校3年間で一番本気で頑張れたと思います。入賞できなかったのは残念でしたが、クラス一丸となって力を合わせて取り組んでいました。[有坂宗太朗]

◆一番印象に残ったのが全員リレーです。授業中の練習時間もなかなか少なかったですが、そんな短い時間の中、バトンパスや個人種目の練習をたくさんして、実行委員たちも運動会のために一生懸命準備してくれました。そして、本番の時は、けがをしながらも頑張っている姿が多く見られました。それを見て、私はとても感動しました。特に全員リレーの時には、走っている人への応援がとても強く、一体感を感じました。[西 千雪]

